

当院で膵臓がんに対して行っている検査について

膵臓がんの診断には血液検査、腹部超音波検査、CT、超音波内視鏡検査（EUS）などの検査が行われます。診断を確定させるために、超音波内視鏡検査を用いた生検（がんが疑われる場所から組織を採取すること）を行います。

・血液検査

膵酵素や腫瘍マーカーを調べます。膵臓がんがあると膵酵素に異常が出ることも多いですが、絶対ではありません。腫瘍マーカーも同様で、上昇しているから必ずがんがあるとは言えず、がんがあっても上昇しないこともあります。

・腹部超音波検査

超音波で体の外から体内の臓器を観察する検査です。膵臓は胃の裏側にあるので、人によってはおなかの上から膵臓が見にくいこともあります。



・CT

X線を用いてがんの存在、広がり調べます。通常造影剤を注射しながら行います。

（造影CT像）

膵臓に25mm程度の膵臓がんを疑わせる腫瘍（赤丸）が認められます。



・超音波内視鏡検査（EUS）/超音波内視鏡下生検（EUS-FNA）

先端に超音波がついている特殊なスコープを用いて、膵臓を調べる内視鏡検査です。通常の腹部超音波検査よりも細かく膵臓全体を見ることができ、CTやMRIでは確認できないくらい小さなステージ0～1の初期の膵臓がんを発見できる時があります。観察に引き続き、超音波画像を見ながらがんが疑われる部分に針を刺して組織を採取し、顕微鏡で検査します（EUS-FNA）（※EUS-FNAは入院が必要です）。



文責 内科医師 井元 章

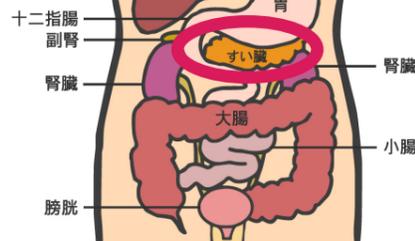
当院の膵臓がんに対する取り組みについて

《膵臓がんの疫学》

膵臓がんとは、胃の後ろにある膵臓という臓器に生じたがんです。全国統計では肺癌、大腸がん、胃がんについて死因の第4位です。我が国の膵臓がんは近年増加傾向にあり、毎年3万人以上の方が膵臓がんで亡くなっています。

《膵臓がんの危険因子（リスクファクター）》

膵臓がんのリスクファクター（膵臓がんになりやすい因子）として、糖尿病・肥満（BMI 30以上が1つの目安）・喫煙・大量飲酒歴・膵臓がんの家族歴・慢性膵炎などが知られており、あてはまる危険因子の数が多い人ほど膵臓がんの発生率が高くなります。



《膵臓がん早期発見の取り組み》

膵臓がんの5年生存率は他のがんに比べて極端に低く8.5%ですが、超早期段階であるステージ0（ゼロ）で治療を受けた場合の5年生存率は85.8%です。そのため膵臓がんはできるだけ早期に発見して治療を受けることが重要ですが、膵臓がんは初期にはほとんど症状が出ません。以上の状況を踏まえ、膵臓がんを少しでも早く発見するために、2007年に広島県尾道市で膵臓がん早期発見プロジェクトが開始となりました。これは、かかりつけ医などが、患者の中で膵臓がんのリスクファクターを複数有する人に対して積極的に“腹部超音波検査”や“血液検査”などを行い、異常があった場合は中核病院へ紹介し、“超音波内視鏡検査（EUS）”などの精密検査を行うことで膵臓がんの早期発見につなげるというものです。この取り組みによって尾道市の膵臓がん患者の5年生存率は20%まで上昇しました（全国平均の約2倍）。この取り組みは“尾道方式”として高く評価され、現在は同様の試みが全国的に広がっています。

《当院の膵臓がん診療》

当院では膵臓がんの診断をできるだけ迅速に行うことを心がけています。当院は“超音波内視鏡検査（EUS）”を有するため、膵臓がんの初期診察から組織学的な診断までを当院のみで完結することができます。



青山病院

『ふれあいニュース』

2024. 11

11月号

お知らせ

青山ふれあい教室

2024年11月16日(土)
開場 13:30 14:00~15:00
青山病院 別館 1F

専門外来、ご存知ですか？

「直腸肛門外来」

外科 野田雅史 先生

「爪外来」

外科 岡田 薫 先生

「便秘・消化器内科特別外来」

内科 樋口和秀 先生

青山病院では、各診療科ごとの外来のほかに特に専門性が高く、お困りの患者様が多い病気について専門外来を設置しています。
困ったらスペシャリストに頼ってみては？

・健康講座のあと、青山病院の医師が病気についての相談時間を設けておりますので、お気軽にご相談ください。

すい ぞう
膵臓がんは
早期診断が大切です

⚠️ **危険因子があったら**
迷わずかかりつけ医に相談しましょう

膵臓がんの危険因子
家族歴^{※1}、糖尿病の新規発症・増悪、慢性膵炎、膵のう胞、飲酒習慣、喫煙、肥満^{※2}

※1 膵臓がんにかかった血縁者がいる人。 ※2 BMI30以上、過去に肥満であった人を含む。

▲横浜医療局がん・疾病対策課より



裏面に当院の膵臓がんに対する取り組みについて掲載しております。

